

留学体験レポート

国際文化学科 2年

片桐 実佳

1. はじめに

英語力の向上とアメリカの文化について学ぶことを目的とし、8月23日から12月8日までセントラルミズーリ大学に留学をしました。この体験を基に、授業、生活、Conversation Partner と Activity Buddy について紹介します。

2. 授業

Reading、Writing、Grammar、Communication Skills のクラスは、テストを受けてレベル別にクラスが分けられました。国際情報大学の生徒は3から8のクラスに分けられました。クラスは韓国人とサウジアラビア人と一緒でした。これらの授業は、授業内にグループやペアで話し合う機会が多く、発言をする機会がたくさんありました。前期の終わりにテストをし、後期になると3から5、4から5、6から7、8から9のようにクラスが上がりました。これらの授業の他に、American History、American Culture、US and JAPAN、TOEIC、Accent Reduction がありました。Accent Reduction は1クラス5人の少人数で、様々なテーマを基に会話をしながら、発音の練習をしました。

3. 生活

国際情報大学の生徒は全員、近くの寮で生活をしました。部屋は国際情報大学の生徒がルームメイトで、外国人と一緒に部屋になりたい生徒は、9月の下旬頃に部屋を変更する申請もできました。お風呂とトイレは隣の部屋の人と共同で使用するスペースとなっていました。食事は朝昼夜と大学内の食堂で食べました。朝のメニューはハムやベーコン、ポテト、スクランブルエッグでした。昼と夜はハンバーガーやピザ、サンドイッチがありました。基本的に毎日のメニューは変わりませんが、昼と夜はこれらの他に別のメニューもありました。生活するにあたって必要な物は、近くのWalmart という大型スーパーで購入することができました。毎週火曜日にWalmart へ行くためのバスが大学から出ているので、そのバスを利用していました。休日は現地の学生が、教会に連れて行ってくれました。こういった機会に、アメリカの文化について学ぶことができました。

4. Conversation Partner と Activity Buddy

Conversation Partner は国際情報大学の生徒2人に対して、現地の学生が1人ついて週に1回会話をする時間がありました。担当してくれた学生はとてもいい方で、忙しいにもかかわらず毎週時間を作ってくれ、大学内の案内や、近くのカフェに連れて行ってくれま

した。帰国する2日前に会って写真を撮ったことはとてもいい思い出です。Activity Buddy は国際情報大学の生徒4人に対して現地の学生が1人ついてくれました。担当の学生が日本の文化について興味があったので、一緒にジャパンフェスティバルに参加しました。

5. おわりに

留学を通して多くの人との出会いがあり、様々な経験をすることができました。この留学で成長できた面もありましたが、今後の課題も見つかりましたので、これらの経験を大切にし、英語力の向上に向けて勉強を頑張ろうと思います。